90th ANNIVERSARY
新時代も、あなたと。
～「ありがとう」こうぎん90周年～

会社説明資料

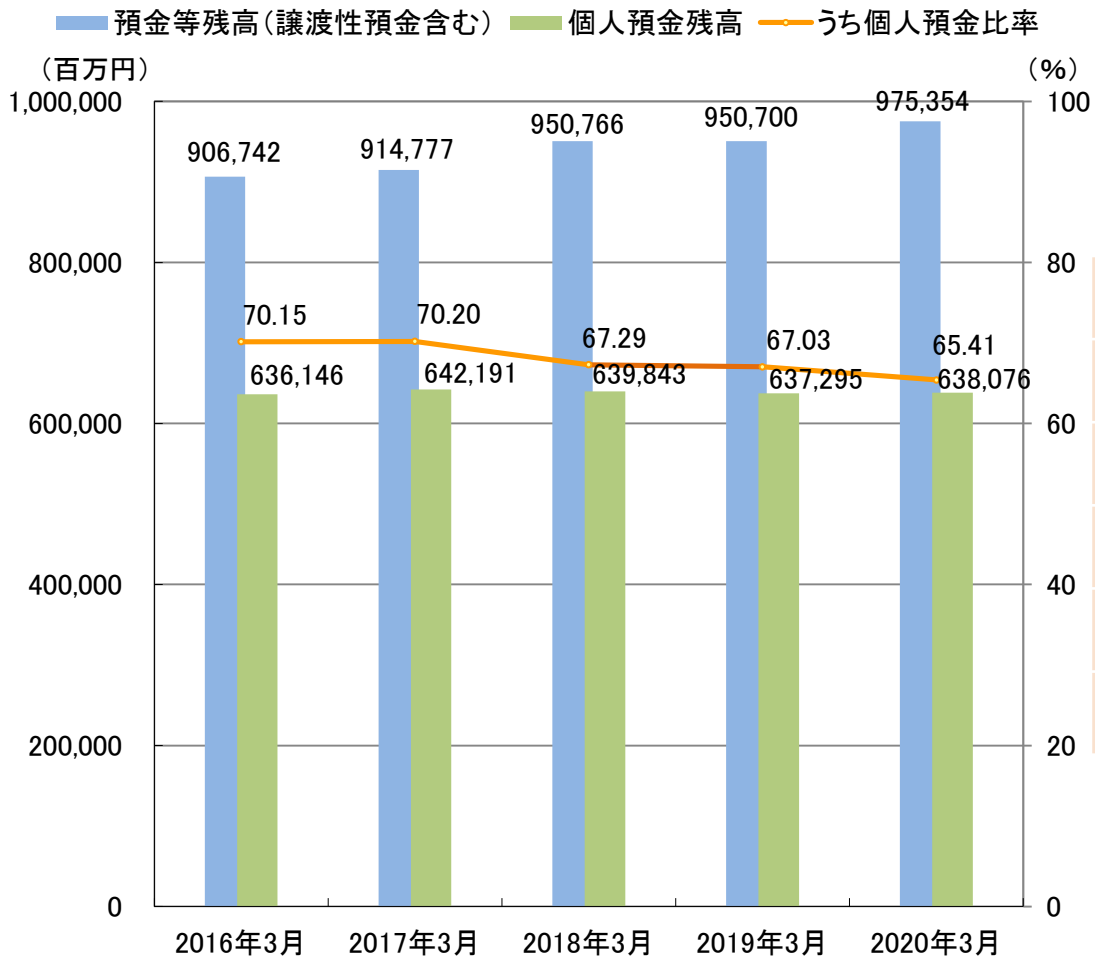
- ◆ 2020年３月期決算の概要
- ◆ 中期経営計画 『こうぎん新創造 第Ⅰ期：変革』
- ◆ CSR活動・ESGへの取り組み

高知銀行

1.預金等

預金等残高の推移

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金等の残高は前期末比246億円増加して9，753億円となりました。



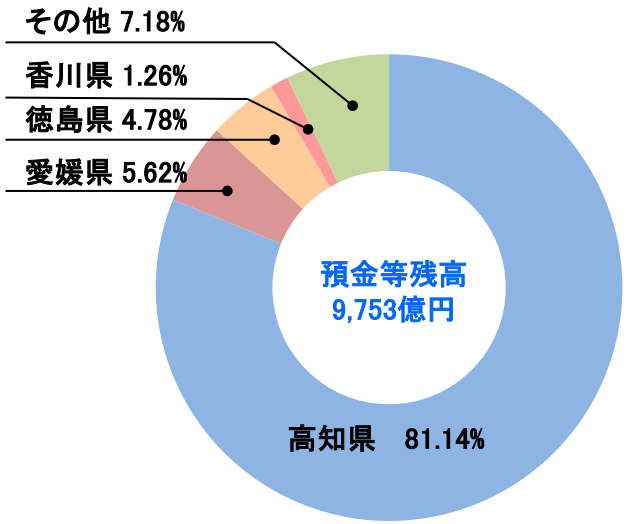
（百万円）

	預金等残高	うち個人預金残高
2020年3月期	975,354	638,076
2019年3月期	950,700	637,295
2018年3月期	950,766	639,843
2017年3月期	914,777	642,191
2016年3月期	906,742	636,146

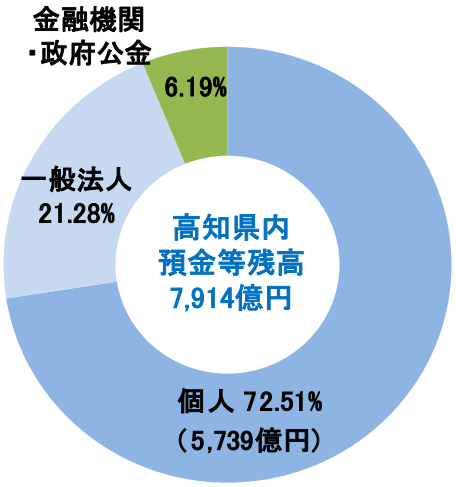
預金等残高に占める地元預金

預金等残高9，753億円のうち高知県内の預金等残高は7，914億円で、預金全体の 81．14%を占め、
また、高知県内の預金等残高のうち72．51%は個人のお客さまの預金となっております。

地域別預金等残高



うち高知県内預金等残高



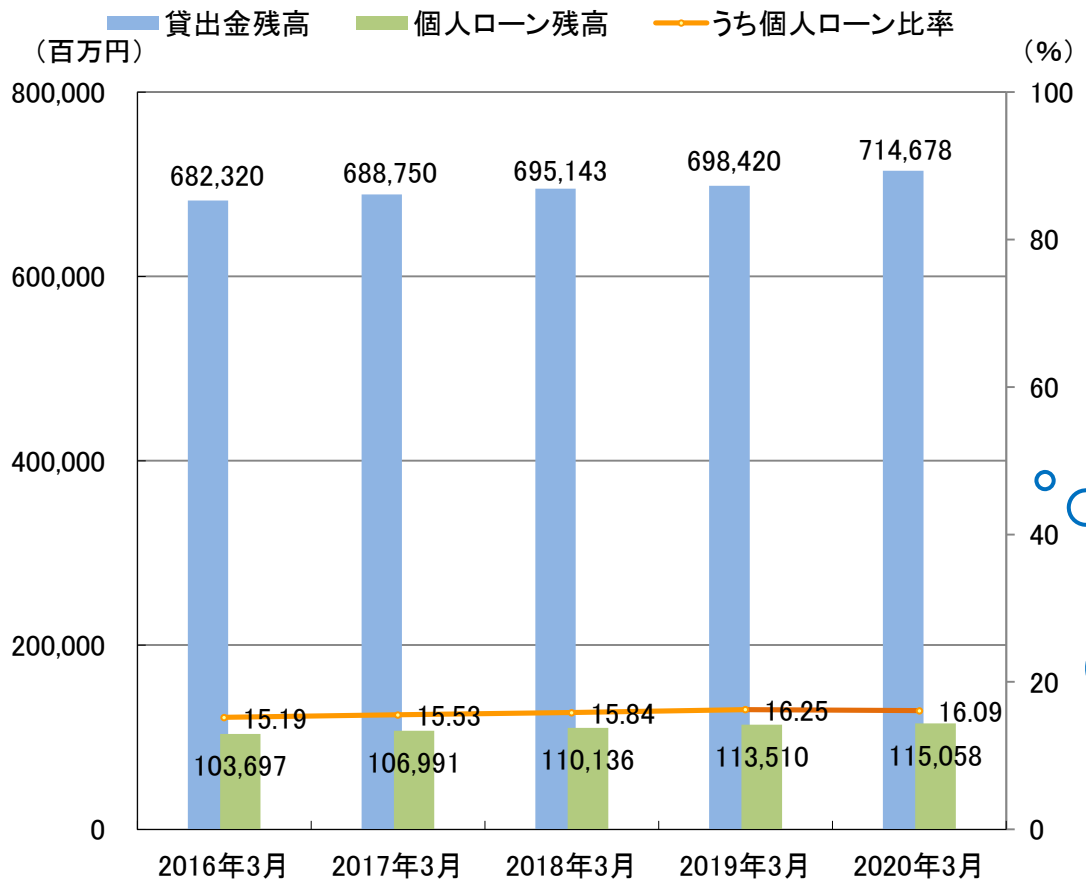
（百万円）

	預金等残高	うち高知県内預金等残高
2020年3月期	975,354	791,463
2019年3月期	950,700	779,692
2018年3月期	950,766	768,538
2017年3月期	914,777	761,854
2016年3月期	906,742	757,594

2.貸出金

貸出金残高の推移

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的にお応えするなど、貸出金の増強に努めた結果、貸出金残高は前期末比162億円増加して7，146億円となりました。



（百万円）

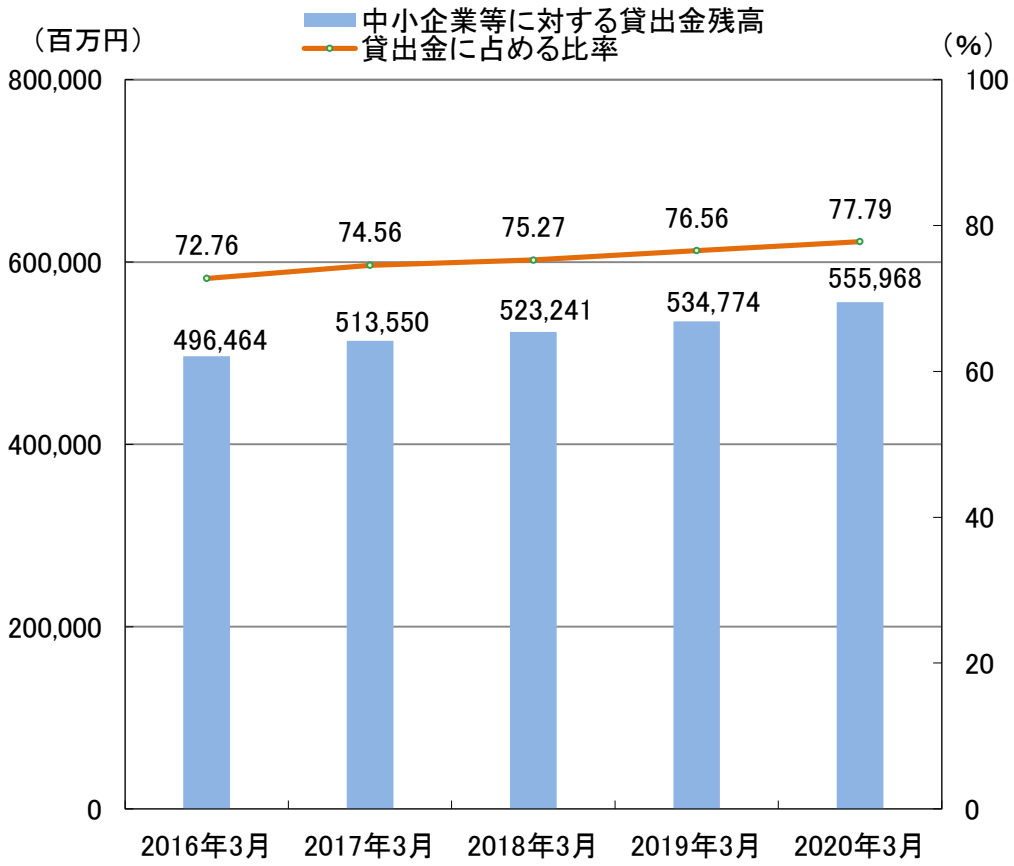
	貸出金残高	うち個人ローン残高
2020年3月期	714.678	115,058
2019年3月期	698,420	113,510
2018年3月期	695,143	110,136
2017年3月期	688,750	106,991
2016年3月期	682,320	103,697

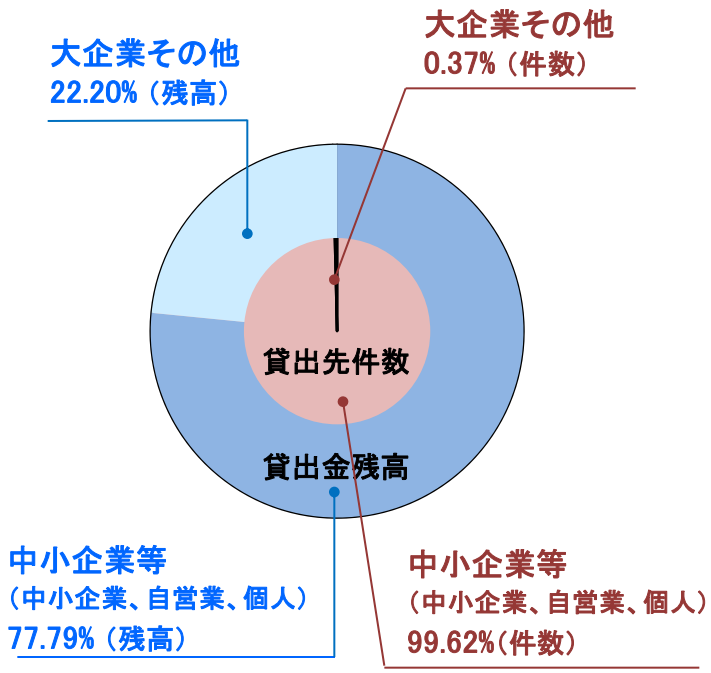
貸出金残高は9年連続して増加

中小企業等に対する貸出金

中小企業の皆さまに対する貸出金残高は、前期末比211億円増加して5，559億円となりました。

なお、中小企業や個人のお客さま向けの貸出金残高は、貸出金の77．79%を占めております。

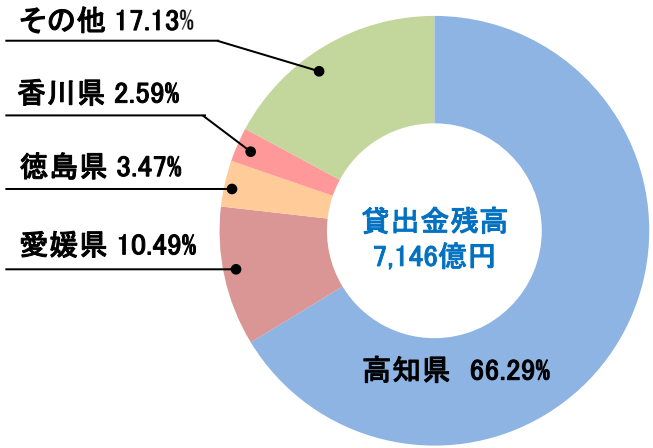




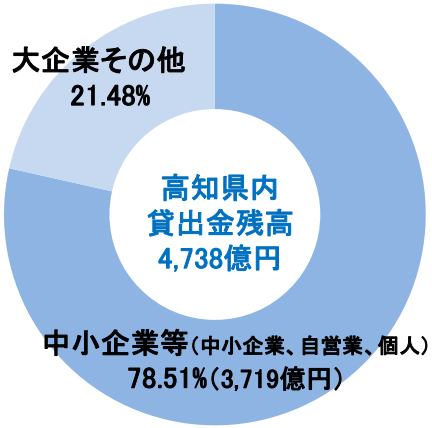
貸出金残高に占める地元貸出金

貸出金残高7，146億円のうち高知県内向け貸出金は4，738億円で、当行の貸出金全体の66．29%を占め、
また、高知県内向け貸出金のうち78．51%は中小企業や個人のお客さま向けのご融資となっております。

地域別貸出金残高



うち高知県内貸出金残高



（百万円）

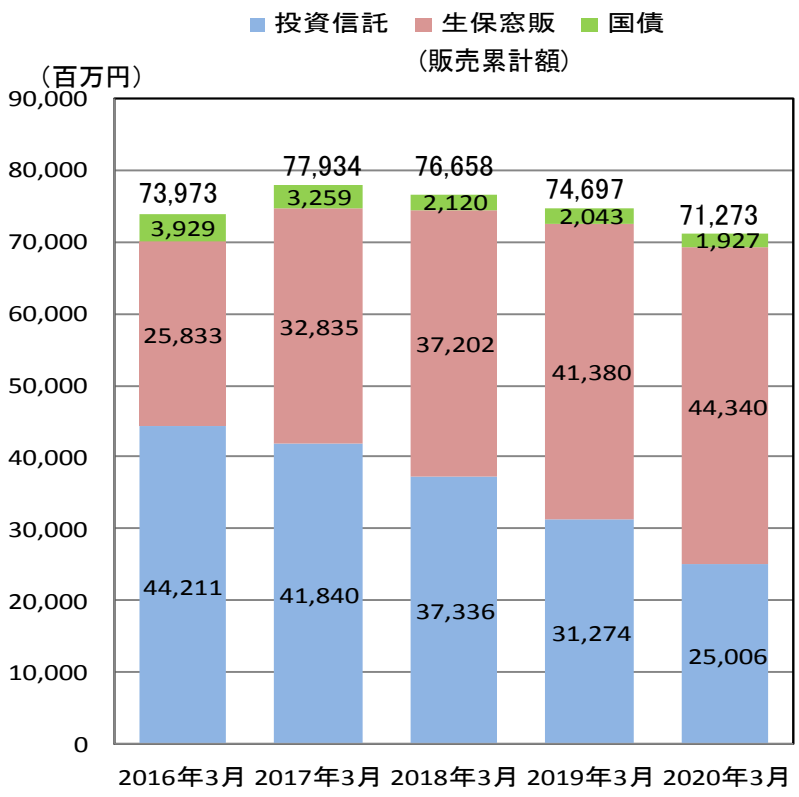
	貸出金残高	うち高知県内貸出金残高
2020年3月期	714,678	473,808
2019年3月期	698,420	468,879
2018年3月期	695,143	462,673
2017年3月期	688,750	457,739
2016年3月期	682,320	460,733

3.預り資産

預り資産の推移

預り資産の残高は前期末比 34億円減少して712億円となりました。

また、預金・預り資産の合計は1兆466億円となり、3年連続して1兆円を超過いたしました。



（百万円）

	投資信託	生保窓販（販売累計額）	国　債	合　計
2020年3月期	25,006	44,340	1,927	71,273
2019年3月期	31,274	41,380	2,043	74,697
2018年3月期	37,336	37,202	2,120	76,658
2017月3月期	41,840	32,835	3,259	77,934
2016年3月期	44,211	25,833	3,929	73,973

預金・預り資産の合計

（百万円）

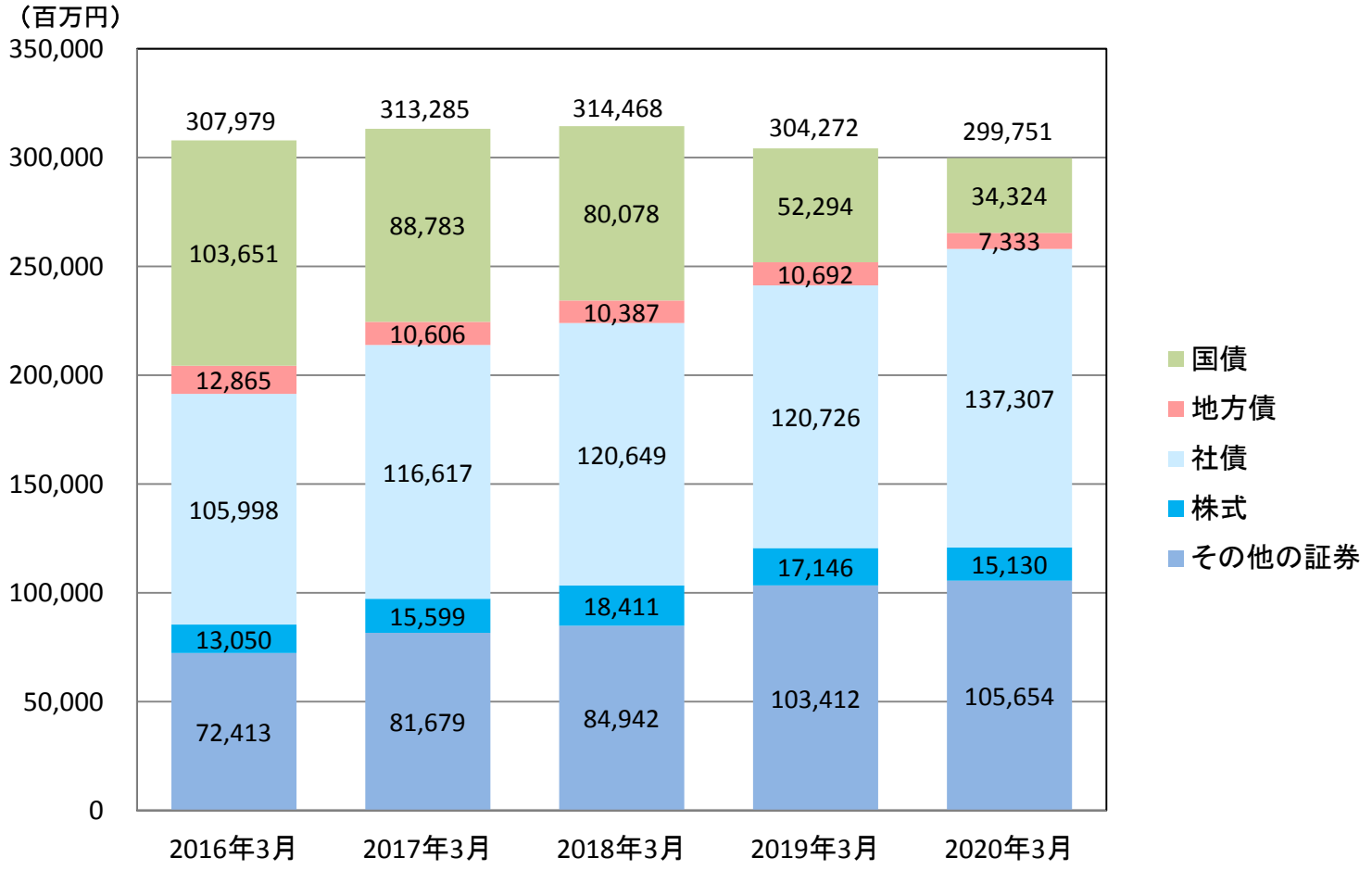
	預金等残高	預り資産残高	合　計
2020年3月期	975,354	71,273	1,046,627
2019年3月期	950,700	74,697	1,025,397
2018年3月期	950,766	76,658	1,027,424
2017年3月期	914,777	77,934	992,711
2016年3月期	906,742	73,973	980,715

4.有価証券

有価証券残高の推移

有価証券残高は、前期末比45億円減少して2，997億円となりました。

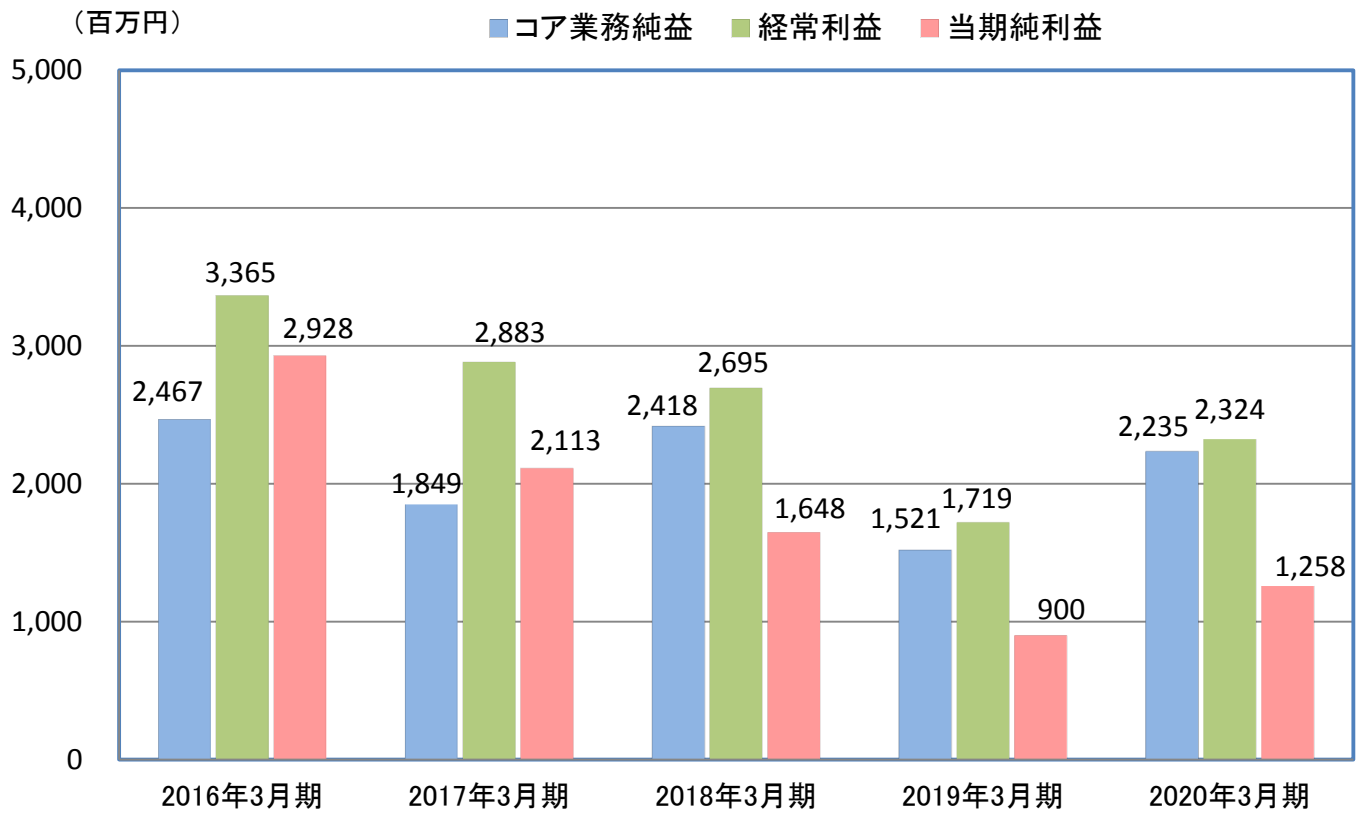
また、有価証券の評価損益は、前期末より68億87百万円減少して14億90百万円の評価益となりました。



5.損益状況

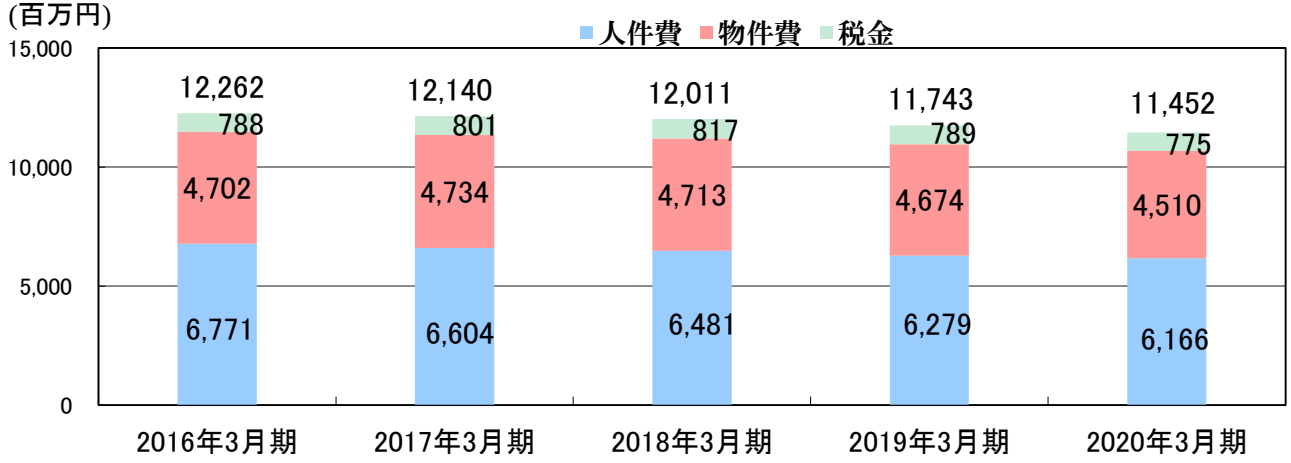
コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質の改善強化に努めた結果、コア業務純益は22億35百万円、経常利益は23億24百万円、当期純利益は12億58百万円となりました。

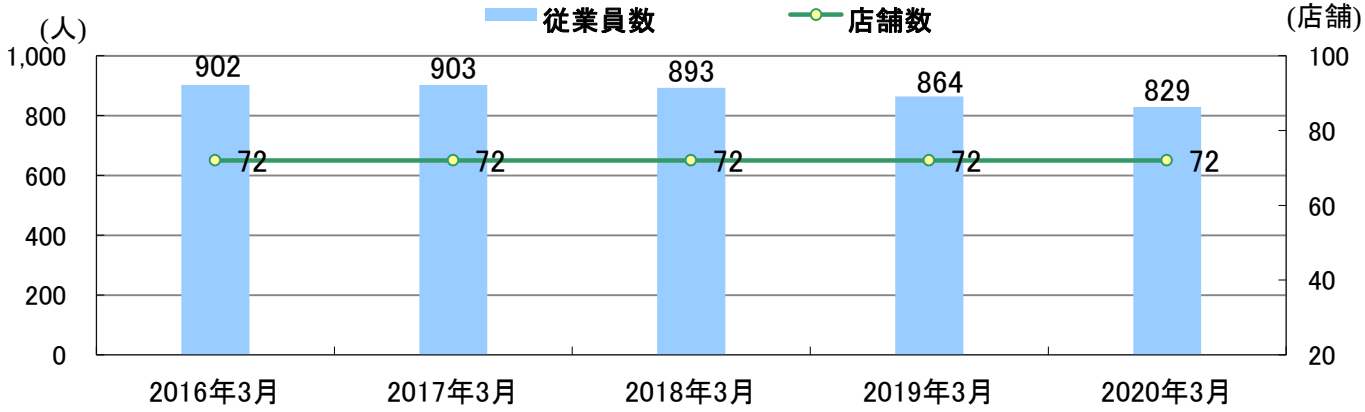


経　費

2020年3月期の経費合計は、前期より2億91百万円減少して114億52百万円となりました。



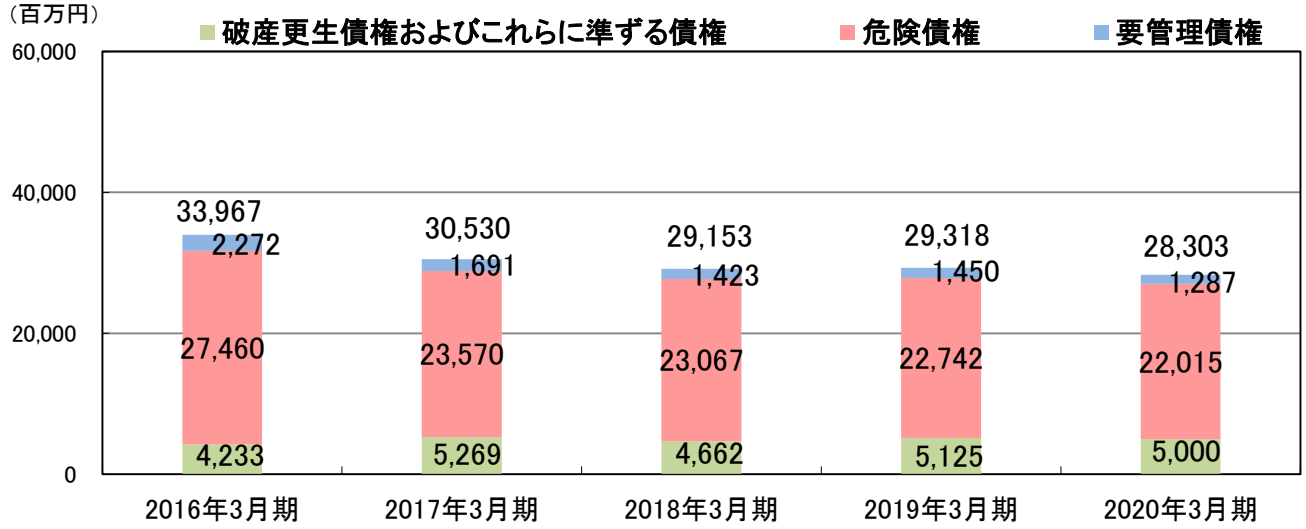
従業員数・店舗数

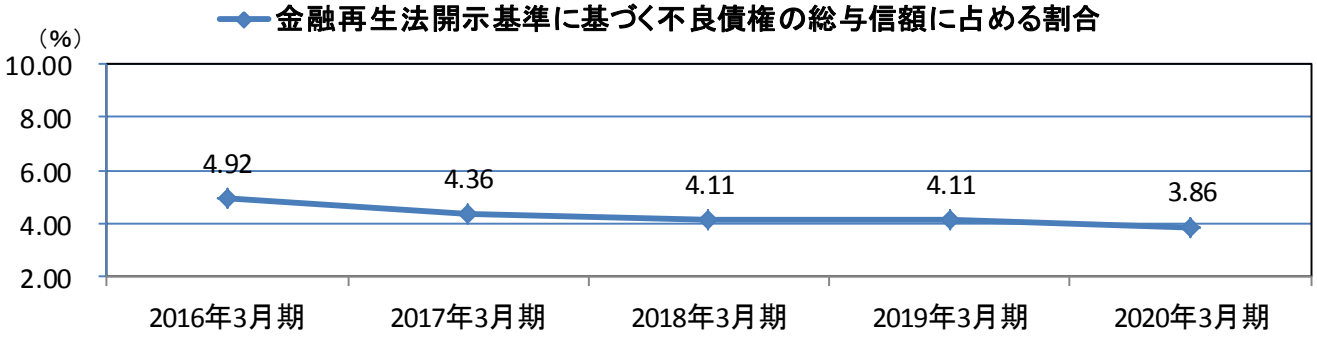


※ 従業員数は就業人員数であり、嘱託および臨時従業員を含んでおりません。
※ 店舗数72店舗のうち、「県庁支店」と「須崎支店」はブランチ・イン・ブランチ方式で営業しております。

6.金融再生法開示債権の状況

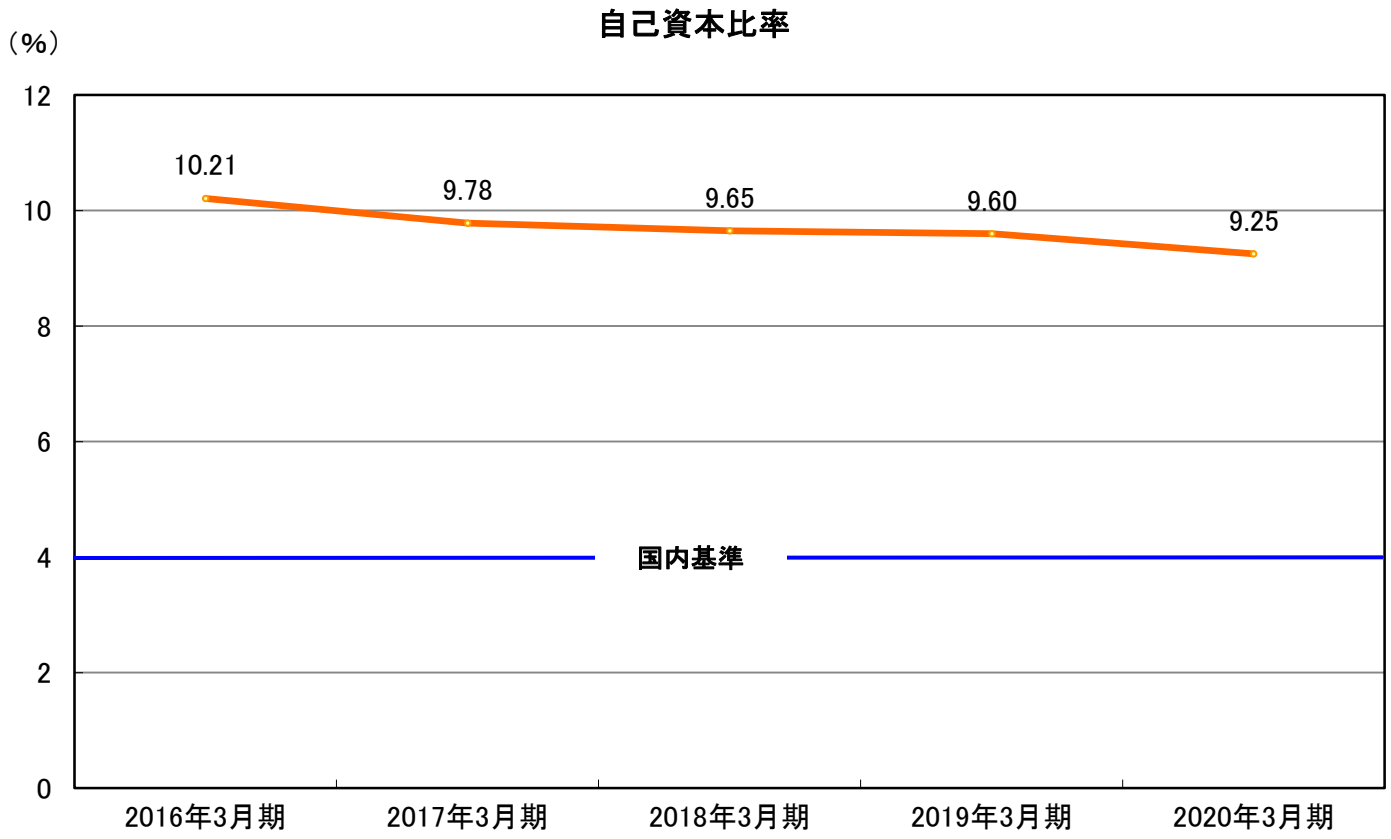
金融再生法開示基準に基づく不良債権の合計は 、前期より10億15百万円減少して283億3百万円となり、
不良債権比率は前期比0．25ポイント低下して3．86%となりました。





7.自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期より0．35ポイント低下して9．25%となりました。



中期経営計画「こうぎん新創造　第Ⅰ期：変革」

計画期間　2018年4月～2021年3月

経営目標

☆お客さまにとって…役に立ち信頼される銀行
☆株主にとって……健全で企業価値の高い銀行
☆地域社会にとって…使命を果たし発展に貢献する銀行
☆職員にとって……働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

10年後の目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」
～こうぎんの目指すベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク～

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる

2024-2026年度
新創造第Ⅲ期
「飛躍」地域の価値向上実現と持続的成長モデルへの改革

2021-2023年度
新創造第Ⅱ期
「進化」刷新された“こうぎんブランド”の定着と財務力向上

2018-2020年度　中期経営計画
新創造第Ⅰ期
「変革」地域の価値向上に向けた創造的な経営モデルに転換

持続的成長に向けた価値追求へ

著しい変化が予想される金融環境のもと、業務効率の向上、付加価値の拡大により持続的な成長を実現

金融機関を取り巻く環境の変化

メインマーケットの縮小
顧客の世代交代
人材多様化と高度化要請
金融テクノロジーの高度化

基本方針

基本戦略

【営業戦略】
- BPR効果の最大化と営業基盤の強化
- 事業性評価に基づく融資の増強
- 個人取引の強化
- 顧客接点の拡大と店舗間連携の強化

【経営基盤戦略】
- 人材力の最大発揮
- 経営基盤の強化

中期経営計画の主要計数目標と実績

主要計数目標

	2019年3月期 目標	2019年3月期 実績	2020年3月期 目標	2020年3月期 実績	2021年3月期 目標
コア業務純益	1，957百万円	1，521百万円	1，940百万円	2，235百万円	2，423百万円
業務粗利益経費率	71．19%	73．16%	71．37%	72．53%	70．03%
当期純利益	15億円	9億円	15億円	12億円	16億円
自己資本比率	9．4%程度	9．60%	9．3%程度	9．25%	9．3%程度

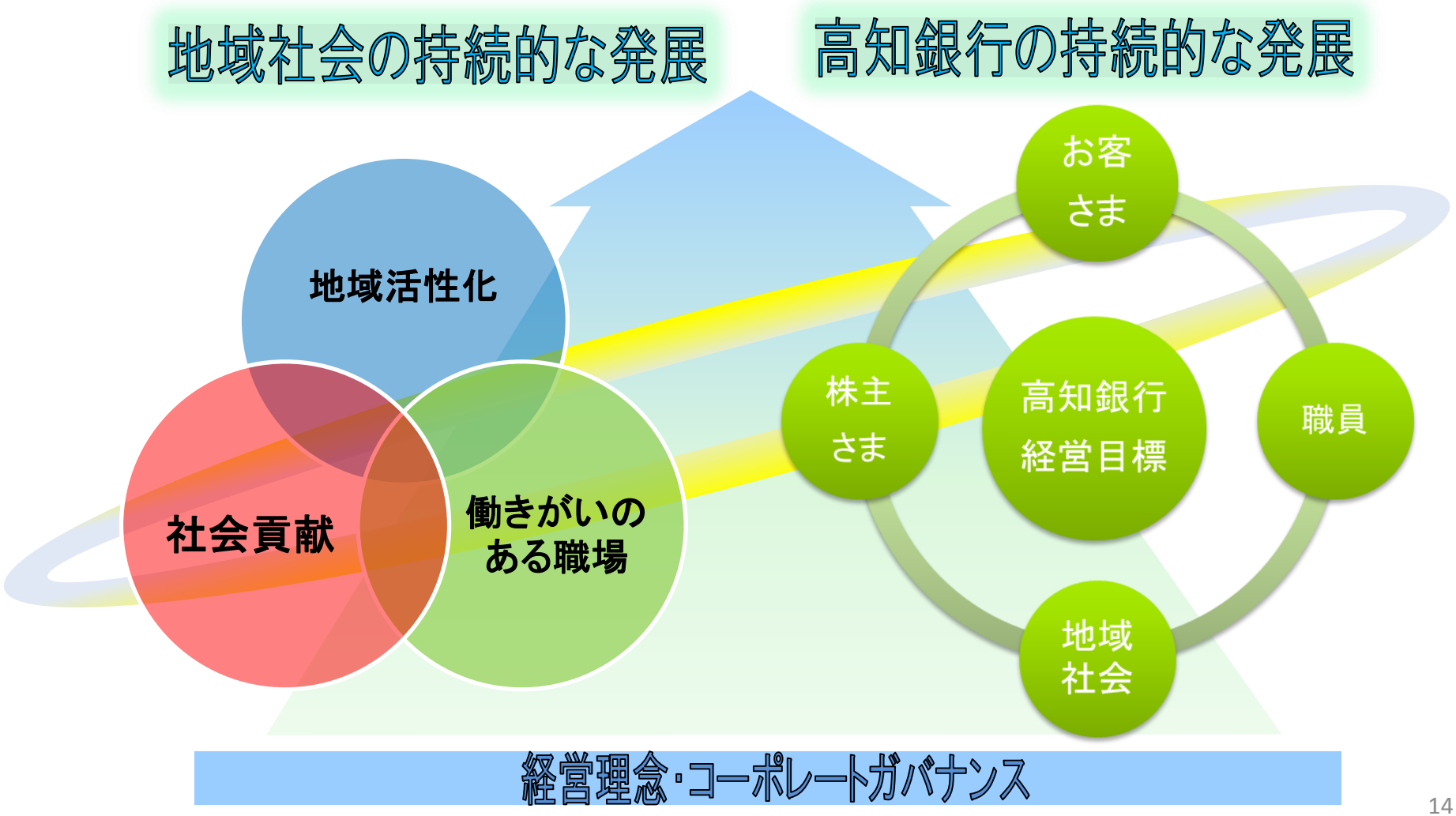
地域密着型金融の深化

中小規模事業者等向け貸出残高	3，968億円	4，045億円	3，985億円	4，258億円	4，003億円
経営改善支援等の取組比率	4．83%	7．86%	4．92%	8．17%	5．00%

※ コア業務純益＝（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）
※ 業務粗利益経費率＝（（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益）

CSR活動への取り組み

当行は、全てのステークホルダー（お客さま・株主さま・地域社会・職員）に対し、より高い価値を提供し、地域社会の持続的な発展に貢献していくことを経営目標に掲げ、CSR活動に積極的に取り組んでおります。



地域と「こうぎん」の持続可能な成長の実現のために

当行は、地域社会の課題解決に貢献しつつ、自らの経済的価値も追求する「地域との共通価値の創造」を目指します。ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から、様々な取り組みを通じて、全てのステークホルダー（お客さま・株主さま・地域社会・職員）に対し、より高い価値を提供し、持続可能な地域社会の発展に貢献したいと考えております。

環境

美しい環境とともに新時代へ

環境保全への取り組み

クリーンエネルギーの普及・発展をサポートするため、太陽光や風力、バイオマスなど再生可能エネルギー資源を利用した発電事業に対する環境関連融資に取り組んでおります。また、環境に配慮した事業に取り組んでいるお客さまを応援する環境配慮型私募債など、環境・エコ関連商品をご用意しております。

社会

ダイバーシティ推進、仕事と育児の両立支援

令和元年度「なでしこ銘柄」に選定。全国の第二地銀・四国の金融機関で初

経済産業省と東京証券取引所は、2012年度より女性活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定し、発表しています。持続的成長に向けて、こうぎんは今後も多様な人材の経験や価値観を尊重し、互いの能力を最大限に発揮できる職場環境の整備に努め、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでまいります。

ガバナンス

ガバナンス強化に向けて

執行役員制度の導入・指名報酬委員会を設置

取締役会で決定した戦略について、より機動的に遂行する態勢を整備するとともに、取締役会の監督機能の一層の強化に繋げるため、執行役員制度を2019年4月に導入しました。また、取締役等の選任・報酬等の公正性、透明性、客観性を確保するための諮問機関として指名報酬委員会を設置しました。2018年6月からは独立役員を1名増員し、取締役会構成員13名のうち独立役員を6名としてガバナンスの充実を図るとともに、経営のより一層の透明性を高めております。

地域の活性化に向けた取り組み

当行は、「高知県産業振興計画」における県内7地域における地域アクションプランの各事業に対し、本部と営業店が連携し、積極的に関与しております。
地域企業の皆さまの事業に対する理解をさらに深めて課題を共有し、様々なソリューションの提供に努めてまいります。

中小企業支援体制を強化 ・・・「ビジネスサポートこうち」など、外部機関との連携支援

高知県下の中小企業等の経営健全化に資する目的で、税制や法律面等の専門家などで構成し設立された「一般社団法人ビジネスサポートこうち」（以下、BSK）が、2018年4月より活動を開始していますが、当行は、その設立趣旨に賛同し組成段階から深く関与させていただいております。BSKと連携し、税制や法務の専門家にご協力をいただきながら、事業承継や相続対策支援、経営改善支援など、地域の中小企業者の皆さまの課題解決に向けたサポートに努めております。
このほか、お取引先の様々なニーズにお応えしていくために、外部機関との連携によるセミナーや相談会を開催しております。

中小企業事業者向けセミナーの開催実績（2019年度～）

セミナー／相談会	共催／協力	開催時期
中小企業事業者向けセミナー「会社の未来を考える」	BSK、幡多信用金庫	2019年7月
雇用・労働分野関係助成金セミナー	高知労働局	2019年7月
相続税改正・民法改正セミナー	BSK、幡多信用金庫	2019年9月
第14回シーズ発表会	高知工業高等専門学校	2019年11月

第14回シーズ発表会

各種商談会への出展支援

地産外商支援への取り組みの一環として、高知県や高知県地産外商公社等との共催による各種商談会への出展支援などを通じて、お取引先企業の新たな販路開拓等のサポートに取り組んでおります。

商談会の名称	出展支援状況等	開催時期
地方創生「食の魅力」発見商談会2019（第9回）	第二地方銀行協会加盟行30行	2019年6月
令和元年度 高知県産品商談会	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行、JAバンク高知、農林中央金庫	2019年6月、11月
薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会2020	南日本銀行、東山口信用金庫、幡多信用金庫、佐賀共栄銀行、大和証券	2020年1月
第54回 スーパーマーケット・トレードショー2020	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行、JAバンク高知、農林中央金庫	2020年2月

地方創生「食の魅力」発見商談会2019

薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会

こうぎん地域協働ファンドを活用した支援

当行および当行の連結子会社であるオーシャンリース株式会社は、「こうぎん地域協働ファンド」を共同で運営しており、創業や新規事業展開、ベンチャー企業の育成支援等、地域経済の活性化や産業振興に資する事業者の皆さまの育成に向けた支援に取り組んでおります。本ファンドの出資受入金は6億円、存続期間は2026年3月31日までとしており、事業者の皆さまが持つ優れた技術や新商品、サービス等を活かした 事業展開をサポートしてまいります。

日本政策公庫との連携

当行は、日本政策金融公庫（以下、日本公庫）と連携・協力し、地域中小企業の皆さまのより幅広いニーズにお応えしていくため、協調融資や情報提供などの連携事業の強化に取り組んでおります。

〇こうぎん地域活性化応援連携融資

地域の商標や地域産業資源を活用した事業ならびに「高知県産業振興計画」の地域アクションプラン認定事業等を対象とした当行融資「こうぎん地域ブランド応援融資」と、日本公庫の制度融資をパッケージ化し、2019年3月から「こうぎん地域活性化応援連携融資」の取り扱いを開始いたしました。

〇こうぎん農林水産応援連携融資

2019年7月には、日本公庫との連携融資第2弾として、当行の商品と日本公庫の制度融資をパッケージ化した「こうぎん農林水産応援連携融資」の取り扱いを開始いたしました。

商工組合中央金庫との連携

当行は、地域中小企業の皆さまの販路や仕入れルート拡大などの支援態勢をより一層強化するため、2019年12月に商工組合中央金庫と「ビジネスマッチング業務における連携・協力に関する覚書」を締結いたしました。

全国にネットワークを保有している商工組合中央金庫との連携を図ることで、お取引先企業の皆さまに対しまして、より幅広いビジネスマッチングのサポートを行ってまいります。

「こうぎん農林水産応援投融資」

当行は、地域の一次産業の持続的な成長と中長期的な価値の向上に資するため、2019年4月に「農林水産支援室」を設置し、一次産業の特性に応じたサポートの充実に努めております。同年6月には「こうぎん農林水産応援投融資」を発売いたしました。
当行は、事業性評価を重視した融資やコンサルティング機能を発揮して、一次産業の活性化や育成に取り組んでまいります。

「こうぎん・ビビッド・ファンド」

地域の成長分野に取り組むお客さまに対する融資ファンドとして、2010年に「こうぎん・ビビッド・ファンド」を総額100億円で創設して以降逐次増額しており、2017年にはファンド総額を1,500億円とし、同ファンドの活用を通じた取り組みを推進しております。

クラウドファンディング事業の活用

当行の連結子会社であるオーシャンリース株式会社は、「FAAVO高知」を開設してクラウドファンディング事業に取り組んでおります。
当行は、オーシャンリース株式会社と連携してクラウドファンディング事業を活用した新たな資金調達手法をご提供するなど、起業家のサポートや育成にも取り組んでおります。

地域社会への貢献に向けた取り組み

当行は、地域の振興と発展に向けた様々な活動を通じて、地域社会に貢献してまいります。

産学連携による地域貢献活動 《シーズ発表会》

高知工業高等専門学校が保有している研究技術（シーズ）を県内事業者に紹介し、共同研究や事業化への発展につなげていくことを目的とした「シーズ発表会」を、2006年より毎年開催しております。
商品化に向け企業との共同開発が進展している案件もあるなど、情報交換や技術相談の場として高い評価をいただいております。

第14回 シーズ発表会

産学連携による地域教育活動 《こども金融・科学教室》《こどもサッカー教室》

地域のこどもたちを対象に、高知工業高等専門学校との共催による「こども金融・科学教室」や高知大学との共催による「こどもサッカー教室」などのイベントを毎年開催しております。

こども金融・科学教室

こどもサッカー教室

医療機関に感染対策用品を寄贈

当行は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う医療用品不足に役立てていただくため、備蓄していた防護服やマスクなどの感染対策用セット（合計140セット）を、2020年4月に高知県内の感染症指定医療機関へ寄贈いたしました。

贈呈式（高知医療センター）

金融リテラシー向上への取り組み

金融リテラシーとは、金融に関する知識や情報を正しく理解し、主体的に判断することができる能力であり、社会人として経済的に自立し、より良い暮らしを送っていくうえで欠かせない生活スキルです。当行は、お客さま向け金融セミナー等を積極的に開催するなど、サポートの強化に努めております。

	2019年3月期	2020年3月期
お客さま向けセミナーの開催数※1	112回	134回
行員向けセミナー受講者数※2	5,797名	6,018名

※1　お客さま向け「投資信託セミナー」「生命保険セミナー」「年金相談会」「税務相談会」の開催数合計です。
※2　本部集合研修と自主参加型セミナーの受講者数（延べ）合計です。

地域社会の一員として、さまざまな活動を実施

○新入行員ら27名が「お遍路ウォーキング」を体験（2019.5）
○高知県カツオ県民会議の活動を支援（2019.7）※
○産学連携支援に係る令和元年度助成事業を決定（2019.8）※
○赤十字サポーターとして役職員が献血に協力（2019.10）
○はりまや橋周辺を役職員91名が年末の大清掃（2019.12）
○「高知龍馬マラソン2020」をサポート、給水所で役職員38名がボランティア（2020.2）

※は、「一般財団法人 高銀地域経済振興財団」の活動です。

高知龍馬マラソン 第13給水所

道中の清掃も実施したお遍路ウォーキング

「働きがいのある職場」づくりへの取り組み

女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に選定　～ 四国の金融機関、全国の第二地方銀行初

当行は、女性の活躍推進に優れた上場企業として、2020年3月に、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する令和元年度「なでしこ銘柄」に選定されました。「なでしこ銘柄」は、2012年度に創設された制度で、女性活躍推進に優れた企業を「中長期の成長力」のある銘柄として投資家に紹介しており、当行は、2019年に初めて「準なでしこ」銘柄に選定され、本年度は「なでしこ銘柄」へとステップアップし、2年連続しての選定となりました。
当行は、結婚や育児で退職した職員が復帰できる制度や、育児休業者の円滑な職場復帰を支援しているほか、女性職員等の活躍推進や働きやすい職場づくりに取り組んでおります。
これからも、女性職員が仕事と子育てを両立しながらその能力を最大限に発揮できるよう、職場環境の整備を進めてまいります。

NADESHIKO BRAND 2020

健康経営優良法人2020　ホワイト500に認定

当行は、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2020年3月に「健康経営優良法人（大規模法人部門）ホワイト500」に2年連続で認定されました。
本認定制度は、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人を認定する制度で、今回より、同認定法人のなかで、経済産業省が実施する健康経営度調査結果の上位500社のみが、通称「ホワイト500」として認定されています。
当行では、2018年に「健康経営宣言」を制定し、職員とその家族の心と身体の健康保持・増進を図るための取組みを行うなど、組織全体での取組みを強化しております。これからも、地域金融機関として、健康で活力ある地域づくりをサポートしてまいります。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

当行は、高知県内企業で初めて「プラチナくるみん」や「えるぼし」などの認定を受けております。
これからも、職員がその能力を最大限に発揮して、いきいきと働ける環境づくりに努めてまいります。

くるみんマークは、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けた証です。

くるみん認定企業のうち、より高度な水準の取り組みを行った企業のなかからプラチナくるみんが認定されています。

認定日：2017年6月22日

えるぼしは、女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業について、厚生労働大臣が認定しているマークです。

当行は、認定基準の5項目全てを満たしていたことから、「えるぼし」の3段階目（最高位）で認定を受けています。

認定日：2017年9月29日

「スポーツエールカンパニー」に認定

～ 四国の金融機関で初めて ～

当行は、2019年12月23日にスポーツ庁から「令和元年度スポーツエールカンパニー」に認定されました。
スポーツ庁では、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組みを行っている企業を「スポーツエールカンパニー」に認定しています。
今後も、「健康経営」を推進していくとともに、健康で活力ある地域づくりをサポートしてまいります。

SPORTS YELL COMPANY
令和元年度認定

TOPICS

創業90周年記念事業を実施

当行は、2020年1月20日に創業90周年を迎えました。
2019年度の1年間にわたり、お客さまや地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、各種キャンペーンや記念事業を実施いたしました。

〇こうぎん地域まるごとフェスタ

2019年12月14日と15日の2日間にかけて高知市の中央公園で「こうぎん地域まるごとフェスタ」を開催いたしました。地域の事業者の皆さまがご当地グルメを販売し、当行行員もサポートしたほか、各種イベントも開催し、1万9千人の方にご来場いただきました。

〇記念講演会

講師に辛坊治郎氏をお招きし、2020年2月9日に高知市文化プラザかるぽーとで「記念講演会」を開催し、約800人の方にご来場いただきました。

〇株主優待

当行株式を100株以上、継続して6カ月以上保有されている株主さまに、保有株式数（2020年3月31日時点）に応じて、クオカードや高知県特産品カタログを贈呈いたしました。
※2019年9月30日および2020年3月31日時点の株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録され、100株以上を保有されている株主さまを対象としております。該当の株主さまには、2020年4月下旬にご連絡いたしました。

「昼時間休業」の店舗を拡大

営業店の窓口営業時間について、2019年6月から吉良川・豊永・宇佐・池川・佐賀支店の5店舗において、11:30から12:30までの時間帯を窓口休業としておりましたが、本年6月22日から昼時間休業を23店舗追加いたしました。
小型店舗では、昼時間の窓口営業が手薄となりがちでしたが、昼時間休業を導入することで、営業時間中は全員体制でのお客さま対応が可能となり、サービスの向上を図ることが可能となります。
【昼時間休業を拡大した店舗】
〇高知県内の店舗
東久万・葛島・福井・梅田橋・春野・針木・室戸・中芸・赤岡・山田・十市・嶺北・佐川・越知・梼原・窪川・大正・清水
〇高知県外の店舗
阿南・池田・城辺・宇和島・八幡浜

店舗の移転

〇「吉良川店」を移転～ブランチ・イン・ブランチ方式～
当行は、2020年8月24日に、吉良川支店を室戸支店内へブランチ・イン・ブランチ方式で移転いたします。
当行は、店舗集約等による効率化によって生み出される経営資源を有効に活用し、お客さまへの一層のサービス向上に努めてまいります。
〇「南支店」を移転～「タリーズコーヒー」とのコラボ店舗
南支店は、店舗の老朽化とBCP対策の一環として、現店舗より約200m南側の電車通り沿いに新築移転いたします。移転予定日は2021年1月中旬です。新店舗の1階スペースには「タリーズコーヒー」が入居予定で、地域の皆さまの憩いの場として提供することが可能となります。

ATMの営業時間を一部拡大

2019年11月25日から、高知県内16カ所の店内外ATM営業時間を平日・土曜・日曜・祝日とも8時～21時に拡大いたしました。

銀行の敷地内を全面禁煙

当行では、営業室やロビー等での禁煙を実施しておりましたが、2019年10月1日から屋外スペースも含め、全ての灰皿を撤去して終日全面禁煙といたしました。
来店されるお客さまの健康にも配慮し、受動喫煙による健康被害の防止を図ることを目的としております。

本資料には、当行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
本資料は決算の概要や経営方針等についてのご案内を目的としており、取引の推奨あるいは勧誘を目的とするものではありません。

お問い合せ先

株式会社高知銀行　経営統括部

TEL：088-822-9311　FAX：088-871-7121

URL：http://www.kochi-bank.co.jp/

E－mail：kouhou@kochi-bank.co.jp

高知銀行